

## 溝掘削 腹おこし材の 段取り失敗例



### 指摘事項

なぜ↑このような不備だらけの土止めになったかは、掘削溝の幅が狭く、手持ちの切り梁材がはまらなかったためです。

そこでやむをえずバタ角の代わりに細い角材を腹起こしに使い、それでも収まらない下段の切り梁には、なんと棧木を代用にしています。

しかも棧木はL字に切り欠きを入れて、掛かりが効くようにしています・・・

### 是正方法

いくら地山が安定しているからとは言っても、土止めは中に人が入る場所です。一旦なにかあってからでは取り返しがつきません。

土止め支保工の設置は「作業主任者」が必要な法定危険作業です、もちろん使用される土止め材も強度の明確なものが用いられることが必然です。

人の命にかかわることだ、と言う認識が慣れた作業のなかで欠落しているのでしょうか、切り梁の長さが足りなければリース材でもなんでも借りて正しい土止めを設けるべきです、それにしても段取り悪すぎますね「段取り8分」を忘れずに・・・そして手抜きを見逃さずになにやってるのか良く確認すること！